

特別展

「渋沢敬三記念事業」
屋根裏部屋の博物館 — Attic Museum —
日本銀行総裁、大蔵大臣を歴任した渋沢敬三はまた、邸内に私設博物館兼研究所を設立した民俗学者でもありました。本展では、渋沢敬三の経歴と民俗学研究を紹介します。
会期 12月3日(火)まで
会場 特別展示館

企画展

「台湾平埔族の歴史と文化」
平埔族の人びとが民族のアイデンティティを再構築するようすを紹介します。国立台湾歴史博物館との国際連携展示です。
会期 11月26日(火)まで
会場 企画展示場A

みんなくxMBSラジオ presents
「行って！わかった！
これがびびりリアル世界だ！」
「60日間ほ世界一周」河田直也さん(MBSアナウンサー)と、「狩猟採集民をおつて世界をめぐる」本館教授池谷和信によるトークイベントです。司会は、古川圭子さん(MBSアナウンサー)です。
9月16日(月)祝に開催予定でしたが、台風のため延期となり次の日程で振替開催します。

日時 11月4日(月)・振休
13時30分～14時30分(13時開場)
会場 講堂(定員450名)
※申込不要、先着順、参加無料
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布
佐々木高明先生追悼シンポジウム
「日本文化のしくみ—その多様性を考える」
佐々木高明元館長の学説の概要を紹介し、日本の民族学史の中に位置づけることも、どのように評価され、学問的に展開されてきたかを検討します。
日時 11月9日(土) 13時～16時30分
会場 講堂(定員450名)
※申込不要、先着順、参加無料

カムイノミ(神への祈り)
みんなくは収蔵されているアイヌの標本資料への感謝と安全を願い、(社)北海道アイヌ協会の協力をえて、カムイノミをおこないます。あわせて古式舞踊も披露します。どなたでも見学できます。
日時 11月21日(木) 10時30分～
会場 本館 玄関前広場
※雨天の場合は、特別展示館休憩所(BF)にて開催
アイヌ工芸 in みんなく
アイヌ民族が培ってきたもの作りの技術や知恵、伝統から創造された数々の作品にふれてみませんか。
アイヌ協会優秀工芸師による「刺しゅう」や「木彫」の実演が行われます。
日時 11月21日(木)～24日(日) 11時～16時
会場 本館1階エントランスホール
※観覧無料

◆もの作りワークショップ
「糸巻き」にアイヌ文様を彫ってみよう
「布コスター」にアイヌ文様を施してみよう
日時 11月21日(木)～24日(日) 11時～15時
会場 本館1階エントランスホール
※参加費 各500円
※申込不要、先着順、各日10名ずつ

北大阪ミュージアムメッセ
北大阪7市3町の美術館、博物館が、2日間限定でみんなくは大集結します。
期間中は、楽器演奏によるコンサート、地域の民俗芸能上演などが開催される予定です。
日時 11月3日(日)・祝、4日(月)・振休
会場 本館エントランスホール及び
特別展示館休憩所(BF)

「研究部の新メンバー」
丸川雄三 准教授(先端人類科学研究部)
10月1日付で着任いたしました。国際日本文化研究センター文化資料研究企画室准教授を経て現職。専門は連想情報学による文化財情報発信の研究。開発に携わった主なウェブサービスに「文化遺産オンライン」、「国立美術館遊歩館」、「想—IMAGINE 早稲田大学演劇博物館」などがある。



河合洋尚 助教(研究戦略センター)が9月1日付で着任いたしました。国立民族学博物館・機関研究員を経て現職。専門は、社会学、都市人類学、漢族研究。著書に、「景観人類学の課題—中国広州における都市環境の表象と再生(風響社)」などがある。論文「中国系宗教の日本への適応と変容」にて、2001年安田三郎賞受賞。
●無料観覧日のお知らせ
11月3日(日)・祝、16日(土)、17日(日)は、特別展示、本館展示を無料で観覧いただけます。
ただし、3日(日)・祝については自然文化園を通行される場合、入園料が必要です。

●展示場リニューアルのお知らせ
展示場リニューアル工事のため、朝鮮半島の文化・中国地域の文化・日本の文化(沖縄の文化)が閉鎖されます。
期間 11月7日(木)～
2014年3月19日(水)

●展示場一部閉鎖のお知らせ
本館2階展示場の空調設備更新のため、左記の期間、展示場の一部閉鎖をいたします。その間は観覧無料となります(ただし自然文化園(有料区域)を通行される場合は、入園料が必要です)。ご理解とご協力をお願いします。
1. 12月5日(木)～2014年1月22日(水)
音楽の一部、言語、南アジア、東南アジア、中央・北アジア、アイヌの文化、日本の文化、ナビひろば、休憩所が閉鎖されます。
2. 2014年1月23日(木)～2月19日(水)
オセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、西アジア、音楽の一部が閉鎖されます。
※各イベントについてくわしくはホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時から17時(土日祝を除く)です。

刊行物紹介
■池谷和信 編
『ネイチャー・アンド・ソサエティ研究 第2巻 生き物文化の地理学』
海青社 定価3,990円
私たちは、さまざまな生き物との共存なしでは生きてはいけません。本書は、「野生動物植物」、「家畜・栽培植物」、「ペット・鑑賞植物」に生き物を分けることから、生き物と人とのかわりかたを地球的な視野から展望します。

みんなくオリジナル

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)
第426回 11月16日(土)
〔企画展関連〕

台湾平埔族の歴史と文化
講師 野林厚志(国立民族学博物館教授)



機を織るクヴァラン族の女性(19世紀末頃)

第427回 12月21日(土)
カザフの死者儀礼—日常から展覧するイスラーム
講師 藤本透子(国立民族学博物館助教)



大規模な死者儀礼の一場面

死者のためにクルアーン(コーラン)を唱え、盛大な肉料理でお客をもてなし、馬上競技に熱くなるカザフ人にとってのイスラーム(イスラム教)は、私たちが想像するイスラームとは少し異なります。マスメディアで「厳格」「過激」というイメージが先行しがちなイスラームについて、カザフスタンの草原に暮らす人びとの日常から考えます。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)
第426回 12月7日(土) 14時～15時
「フィールドワークを語る」
ドリアン王国探訪記
講師 信田敏宏(国立民族学博物館 准教授)

『ドリアン王国探訪記』は、私がマレーシアの先住民オラン・アスリの研究のために、2年半現地に住みこんで調査をした時の体験をまとめた本のタイトルです。「ドリアン王国」は、オラン・アスリの世界を架空の王国になぞらえて称したものです。異文化ならではの失敗やトラブルを経験しながら、何とか首長の養子になる儀礼を経て、村に受け入れてもらうまでの体験をお話します。その儀礼の様子を収めた映像もお見せします。
第427回 1月11日(土) 14時～15時
「みんなくコレクションを語る」
中央アジアの民家の現在
講師 藤本透子(国立民族学博物館助教)

東京講演会

会場 モンベル品川店2Fサロン
定員 60名(要事前申込)
第107回 12月21日(土) 14時～15時30分
「ビデオテークより」
婚礼に映しだされるインドのこま
講師 三尾稔(国立民族学博物館 准教授)

盛大なことで知られるインドの婚礼は、経済発展を背景にますます華麗におこなわれるようになってきました。婚礼にうつしだされるインド社会の現在の姿はどのようなものでしょうか。また婚礼にかける人びとの思いはどうでしょうか。インド西部のラージャスターン州で2012年に行なった取材に基づくビデオテーク映像の一部をお見せしながら、インドの婚礼の変わりつつある部分と変わらない部分について考えたいと思います。
※申込は参加者名、連絡先を明記して上記友の会までメール、FAX、ハガキにて。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

みんなくオリジナルカレンダー
「植物と暮らす」

2014年のみんなくオリジナルカレンダーのテーマは「植物」。みんなくは展示・収蔵資料のなかで、草花や樹木と人びとのかかわりをあらわす12点を選びました。
人間の生活にとって、植物はなくてはならない存在。食糧だけでなく、服飾品や日用品、あるいは信仰の品としてなど、さまざまな用途で活用されてきました。一年を通して、世界の人びとと植物のかかわりを楽しみませんか。

2014 CALENDAR
2014年みんなくオリジナルカレンダー
「植物と暮らす」
価格:1,500円+税
※5冊以上まとめてご購入の場合は、特別価格の1冊1,200円+税
※通信販売の場合、1か所につき送料手数料400円が必要ですが